

- この競技会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則に従って競技運営を行う。

## 競技会規則及び競技者・指導者の注意事項

### 1. 招集（コール）

- (1) 招集の時間は ①トラック競技は開始予定時刻の40分前～20分前 ②フィールド競技は60分前～40分前とする。
- (2) 招集所においてアスリートビブス・スパイク等の最終点検を受けて第4ゲートより入場する。入場は全て競技役員（補助員）の誘導による。招集時刻に遅れた者は棄権とみなして出場を許されないで、特に注意する。なお、プログラムの氏名に誤記載があった場合には、朝の学校受付の際に正しく訂正する。
- (3) 朝の時点で欠場が決まっている者については、欠場届を朝の学校受付時に提出すること。尚、その後怪我等で欠場する者が出た場合には、本人または代理人が招集所に、招集完了時刻までに欠場届を提出すること。
- (4) 招集所は、第4ゲート（200mスタート付近）の外側に設ける。

### 2. レーン順・試技順

トラック競技のレーン順及びオーダー（スタート時の整列順）は、プログラム記載の○数字のとおり、フィールド競技の試技順は、上から下の順序とする。

3. 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。（競技規則 TR16.7）
4. 1500m, 3000mは、補助競技場で競技を行う。
5. 3000mは、グループスタートとする。第2グループのスタートラインから10m程度は代用縁石を設置しない。
6. 800mはオープンレーンで実施する。
7. バーの上げ方（天候などの状況によっては、変更する場合もある。）

◇走 高 跳（走高跳は、2グループに分けて行う場合がある。）

男子：1m30-40-45-50-55-60-65-70・・・以降3cmずつ

女子：1m10-20-25-30-35-40-45・・・以降3cmずつ

◇棒 高 跳

男子：2m20-30-40-50-60・・・以降10cmずつ

女子：1m80-90-2m00-10-20・・・以降10cmずつ

8. 円盤投は、投てき場で競技を行う。

### 9. 競技用シューズの規定について

- (1) 使用するシューズについては、競技規則 TR5.2/TR5.3/TR5.4/TR5.5/TR5.6 を適用する。ただし、フィールド競技用として小売されているシューズについては競技規則 TR5.5 の適用を除外する。
- (2) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。  
競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

### 10. AD規制について

本競技会で使用する全ての会場は、AD規制を行う。AD提示のない者の入場は認めない。

### 11. その他

- (1) トラック競技の出場者は、プログラムの○数字と同じ腰ナンバーカード（シール）を招集所で競技者係から受け取り、パンツの右横（800m以上の競技については両腰）、やや後方に付けること。なお、安全ピンは各自で用意すること。
- (2) 選手は、第4ゲート（200mスタート付近）から入退場及び第1ゲート（100mスタート後方）から退場することができる。トラック競技のフィニッシュ後は、バックストレート側（競技場内）を回って自分の荷物を取りに行き、第4ゲート（200mスタート付近）又は第1ゲート（100mスタート後方）から退場すること。その際、競技進行の妨げにならないように注意し、競技役員の指示があった場合は従うこと。
- (3) スパイクの長さは9mm（走高跳は12mm）を超えてはならない。
- (4) アスリートビブスの数字は、読み取りやすいようにはっきりと書き、胸と背にしっかりと付けること。跳躍競技の競技者は、背または胸に付けるだけでもよい。
- (5) 大会運営に支障をきたすので、トランシーバーの使用を禁止とする。
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、声を出しての応援は禁止とする。観戦時はソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを着用すること。
- (7) スタンド最前列や通路で立ち止まっての観戦は禁止とする。
- (8) メイン競技場への「のぼり旗」及び「応援横断幕」の設置についてはサイド・バックスタンド最上段手すり部分のみとする。
- (9) ウォーミングアップについては『練習会場の使用について』を遵守し、事故のないように行うこと。
- (10) 朝の練習開放時間帯は第1・3・4ゲートを開放する。